

## ごあいさつ

### 第6回シーティングシンポジウム開催にあたって

大会長 土中 伸樹（養和病院）

この度、第6回日本シーティング・シンポジウムを開催させていただくことになりました。演題も多数ご応募いただき、会員はじめご参加の皆さまのご協力の賜と感謝申し上げます。

超高齢化社会の到来にともない、リハビリテーション分野は質・量ともに年々その規模が急速に拡大してきています。シーティングに関する分野も同様であり、リハビリテーションに関わるスタッフは若い世代が急激に増加しており、最新の知識や技術の習得が欠かせません。そのためには莫大な情報の洪水をかき分けながら、価値の高い必要なデータを自分のものにしていくためのコミュニケーションの場が必要となります。また、日々の診察で見出した新たな知見の積み重ねを、確認し共有していくことも大切です。今回は、はじめて地方での開催となります。規模は小規模ですがホットな論議や情報交換が交わされるものと期待しております。

特別講演は、生き生きサポートセンターうえるば高知 代表の下元佳子先生にお願いしました。下元先生は、在宅ケアに活かせるポジショニング・シーティングの第一人者であり、自然な動きに基づく介助方法や姿勢を考えた褥瘡予防など、各地で多くの講習会や講演会を行っています。また、地方で開催する福祉機器展としては西日本では屈指の規模である高知ふくし機器展を毎年6月初めに行っており、来年は第10回目となります。経験豊かな臨床での話も聞けるとおもいますので是非みなさん楽しみにして下さい。

## 第6回 日本シーティング・シンポジウムのご案内

1. 主催：日本シーティング・コンサルタント協会
2. 会期：平成22年11月20日（土）～21日（日）
3. 会場：川崎医療福祉大学 講義棟3階（岡山県倉敷市松島288）
4. 参加者
  - 当日お渡しする参加証には所属・氏名を記入して、会場内では必ずご着用ください。参加証をつけていない方のご入場は堅くお断りいたします。
  - 場内での撮影・録音などは一切禁止いたします。無許可の撮影・録音をスタッフが発見した場合、テープ、フィルムの没収、データの消去などしかるべき措置をとらせていただきます。
  - 会場内は全館禁煙となっておりますので、喫煙は指定の場所をお願いいたします。また、昼食休憩時間を除いて、発表会場内での飲食はご遠慮ください。弁当や空き缶などのゴミは各自お持ち帰りくださるようご協力お願いします。
  - 呼び出しは行ないません。また、携帯電話やポケベル等は一切鳴らないようお願いいたします。
5. 演題発表者及び座長へのお知らせとお願い
  - <演題発表者の方へ>
    - パワーポイント用ファイルは20日午前発表者は20日9時20分までに、午後発表者は13時までに、21日発表は20日17時までに発表受付まで持参してください。受け付けるメディアはUSBメモリまたはCDとします。
    - ※発表者の方は十分にウィルスチェックをお願いします。
    - 発表時間は15分（発表時間10分、質疑応答時間5分）です。時間を厳守してください。
    - 演者は発表15分前までに、会場内前方の「次演者席」に着席してください。
  - <司会・座長の方へ>
    - 担当されるセッションの15分前までに、会場内前方の「次座長席」に御着席ください。演者の欠席がでた場合、発表を繰り上げて進行をお願いいたします。
    - 発表時間を厳守しての進行をお願いいたします。
  - <質問および発言される方へ>
    - 最初に所属、氏名を述べ、座長の指示に従って要点を簡潔に述べてください。発言にあたりプロジェクターのご使用はできません。
6. 基礎課程修了者
  - シーティング・コンサルタント養成研修（基礎課程）修了者で単位認定を希望する方は、終了証を持参の上、ロビーにある日本シーティング・コンサルタント協会の窓口までお越しください。終了証をお忘れになられた方は、本日の参加費領収書を保管いただき、次の研修受講の際などに単位認定を受けてください。
7. 懇親会
  - 第1日目シンポジウム終了後、会場近くで行います。

## 第1日目 11月20日(土)プログラム

9:30	受付			
9:50	事務連絡			
9:55	開会の挨拶	大会長	土中 伸樹	
10:00	特別講演「生活の視点で捉えたシーティング」 下元佳子（生き生きサポートセンターうえるば高知） 座長：土中伸樹（大会長）			
11:30	企業プレゼン  司会：及川 雅博（佼成病院）			
12:30	昼食および企業展示			
<b>セッションA 座圧・褥瘡</b> 座長：馬場孝浩（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院）				
	演題 番号	演題名	所属	氏名
13:30	1	浮腫予防に対するシーティングの有用性 -車いすのティルト機構の角度変化およびリクライニング機構 の観点から-	川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科	藤田 大介
13:45	2	車いす座位における座位姿勢、身体の接触面積・圧分布、座 り心地の経時的変化	群馬大学 医学部保健学科	亀ヶ谷 忠彦
14:00	3	健常成人男性における自在ボード使用の有無が 座圧に与える影響	竹の塚脳神経リハビリテーション病院	南 裕二
14:15	4	頸髄損傷者に生じた両肘頭部褥瘡の一例	埼玉県 総合リハビリテーションセンター	杉山 真理
14:30	5	当院における車いすに関連した褥瘡に対する対応 ～車いす係と褥瘡対策委員会からの介入を経験して～	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院	青木 克久
14:45	休憩			
<b>セッションB 回復期・維持期</b> 座長：井上悦男（埼玉県総合リハビリテーションセンター）				
	演題 番号	演題名	所属	氏名
15:00	6	若年脳卒中患者の機能改善と車いす給付申請時期について	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院	栗木 淳子

15:15	7	当院入院中に車いすからの転落を繰り返した症例への対応	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院	中村 智也子
15:30	8	円背姿勢を呈する高齢者の椅子座位における 臀部ずれ力推定モデルの妥当性の検証	川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科	小原 謙一
15:45	9	回復期リハビリテーション病棟での退院に向けた車いすや パーツの準備状況	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院	馬場 孝浩
16:00	休憩			
<b>学術局企画 ワークショップ 車いす座位の評価 1</b>				
		テーマ	所属	氏名
16:30		車いす座位中に起こるずれの測定方法	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院	古田 大樹
16:50		Hoffer 座位能力分類(JSSC 版)について	特別養護老人ホーム 浅草	古賀 洋
17:10		車いす座位における上肢機能評価法の検討 ～STEFによる上肢機能測定～	からざステーション	江原 公洋
17:30	事務連絡			
	懇親会			

## 第2日目 11月21日(日) プログラム

8:30-	受付			
8:55	事務連絡			
<b>セッションC 困難事例への対応</b> 座長: 廣瀬秀行(国立障害者リハビリテーションセンター研究所) 丸山陽一(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)				
	演題 番号	演題名	所属	氏名
9:00	10	車いす座位時に頸部が屈曲、右回旋する一症例	大西病院	天野 智文
9:30	11	車いす乗車時に体幹の前傾を繰り返す一症例	大西病院	江蔵 勇助
10:00	12	電動車いすの乗車時間延長を目的としたシーティング介入	埼玉県 総合リハビリテーションセンター	佐藤 征之
10:30	休憩			

## 学術局企画 ワークショップ 車いす座位の評価 2

		テーマ	所属	氏名
10:45		車いす駆動能力評価方法の報告	神奈川県 神奈川リハビリテーション病院	森田 智之
11:05		座位における相対角度の表現方法の提案	埼玉県 総合リハビリテーションセンター	井上 悦男
11:18		HORIZONによる座位姿勢計測の方法	特別養護老人ホーム 浅草	古賀 洋
11:31		座位姿勢計測ソフトウェアrysisを用いた座位姿勢計測	群馬大学 医学部保健学科	亀ヶ谷 忠彦
11:45		昼食および企業展示		
<p><b>セッションD 環境</b> 座長: 森谷 陽一(特別養護老人ホーム 日の出ホーム)</p>				
13:00	13	1日中車いす駆動…！？ ～長期療養生活を送る高齢者との関わり～	甲府城南病院	池田 鉄平
13:15	14	介護リフトを利用してのシーティング	特別養護老人ホーム ハピネスあだち	遠藤 大知
13:30	15	在宅復帰に向け取り組んだトータルケア ～あんこが食べたい！！～	養和病院	松永 美幸
13:45	16	地域社会における車いす生活の現状と課題	養和病院	石丸 知
14:00		休憩		
<p><b>セッションE その他</b> 座長: 河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター)</p>				
14:15	17	ISO16840-3 座位保持装置の強度改定の現状	国立障害者 リハビリテーションセンター研究所	廣瀬 秀行
14:30	18	障害児・者の自動車乗車時の安全性に関する アンケート調査報告	国立障害者 リハビリテーションセンター研究所	廣瀬 秀行
14:45	19	ロボット・アームとシーティング技術による自立支援検討2	日本医療科学大学	木之瀬 隆
15:00		事務連絡		
15:05		閉会の辞	理事長	木之瀬 隆